

## 西門川の八年間

西門川中学校 二年 松田 悠汰

私がこの西門川に来て八年が経ちました。小学一年生から中学二年生まで学校生活を過ごしてきた西門川は自然豊かなところで、鮮やかな緑の木々に囲まれ、アユなどが泳いでいるきれいな五十鈴川を望むことができます。そんなすばらしい環境の中で、私は楽しい学校生活を送っています。

そんな私には、皆さんに自慢したいことがあります。それは西門川中学校ならではの行事の数々です。まず一つ目は、小中合同運動会です。西門川中学校では、お隣にある西門川小学校と合同で運動会を行います。だから、普段あまり話すことのない小学生とも話すことができ、仲良くなり、協力して運動会を盛り上げることができます。また、保護者の方や地域の方なども参加して、小さな子供からお年寄りの方まで幅広い年齢の方が楽しむことができる運動会です。私は今年の運動会ではリーダーを務めました。応援を考えたり、団のみんなを動かす仕事をしたりしなければならず大変でしたが、楽しくて、よい経験ができました。

二つ目は学習・文化発表会です。西門川の学習・文化発表会は、歌を歌うだけでなく、劇をしたり、美術や書写の作品を展示したりもしています。自分たちの成長を目にすることができ、また、お互いを知ることでもできて全員が楽しむことのできる発表会です。今年の発表会で私が一番心に残っているのは中学生全員で取り組んだ劇です。劇は、全員の、お互いの息が合わないと成り立ちません。また、セリフを忘れてしまうと前後のつじつまは合わなくなってしまうからです。だから、全員が必死に取り組み、笑いあり感動ありの最高の劇が完成しました。今年は先生たちも参加

してください、さらにより作品に仕上がりました。

三つ目は、地域の方に教えていただく、しめ縄づくりです。毎年十二月に行われるしめ縄づくりは、上井野地区の高齢者クラブの方々に教えてもらいながら作ります。小学生が作った米の稲わらを使い、二日間に渡って行われます。高齢者の皆さんと楽しく話しながら、昔ながらの伝統的なしめ縄作りを学ぶことができます。出来上がったしめ縄はそれぞれ、自分の家に持ち帰ります。去年、私は自分の家の玄関にかざり、気持ちよく新年を迎えることができました。

これらの他にも、西門川の自然や特色を生かした西門川中学校でしかできない行事がたくさんあり、私はこの二年間で、多くの思い出を作ることができました。

そんな西門川中学校で、私は今年度の前期、生徒会書記という大事な役割を担っていました。また、後期からは生徒会長という大役を務めることになりました。西門川中の生徒会は「挨拶日本一！」という大きな目標を立てています。通学バスから降りた後、地域の方や校長先生たちと一緒に挨拶運動をしたり、玄関に立って一人一人と挨拶を交わしたりするなどして、目標達成のためにがんばっています。具体的には、「大きな声で」「立ち止まって」「笑顔で」「相手の目を見て」挨拶をすることを心がけているのですか、生徒全員ができていたとは言えません。だから、これからは、全校生徒がその四つのことを意識した挨拶を心がけ、「挨拶日本一！」を達成したいと思います。

そしてその挨拶は、私が来年度、門川中の一員になっても続けていきたいと思っています。そして自分から積極的に声をかけ友達を増やしたいと思います。

たくさん走った運動会、歌い、演じた学習・文化発表会。行事

だけでなく、何げなく過ごした毎日にも、忘れられない思い出がつまっています。今まで私を支えてきてくれたこの西門川に感謝したいです。今年の三月で閉校してしまうのは残念ですが、最後の在校生として、この歴史のある西門川中学校で有終の美を飾りたいです。

---